

CC川崎エコ会議シンポジウム:第14回 スマートライフスタイル大賞(最優秀賞)

子どもの感性を育み、地域環境改善に寄与する、 園児・学生・教職員・保護者、地域参加型による こども園の脱炭素化環境活動



田園調布学園大学みらいこども園

田園調布学園大学子ども教育学部子ども教育学科

田園調布学園大学大学院人間学研究子ども人間学専攻

主催:川崎市・川崎温暖化対策推進会議(CC川崎エコ会議)@川崎市役所本庁舎 令和8年7月10日

田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト1~6

～CO2吸収源の増加:

1. 参加型 こども園園庭緑化計画
2. 地域の協力・連携から、子どもが生き物の生命を感じられる池を創生

～CO2排出量の削減:

3. 附属中高の伐採樹木や附属大学のアカマツの枯木をみらいこども園のあそび場に活用
4. ごみの分別、コンポストづくり

～CO2削減プロジェクトの普及啓発:

5. 川崎市「脱炭素行動宣言」に賛同
6. 国際校庭園庭連合日本支部:2025年度園庭研究実践セミナー①「子どもの主体的なあそびを育む園庭の環境づくりとルースパーツ(素材)の導入・実践・可能性を考える」会場:田園調布学園大学みらいこども園

田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト1

～CO2吸収源の増加:
参加型 こども園園庭緑化計画

2018年4月～2025年9月



園庭環境について考える(2018年度)

「子どもにとって使いやすく、遊びたくなる園庭」というテーマで、園内研究に取り組む

子どもが自ら関わる自然環境を増やしていきたい

- ・登れる木、季節によって変化を見せる木があるといい
- ・虫が集まる草木もほしい
- ・隠れる場所
- ・ビオトープ
- ・自由に詰める雑草園



土管が丸出しになる築山を改修したい

水道が砂場の方にもあったらいい

幼児砂場の日よけ(テント・藤棚・キウイ)

想いの実現に向けて園庭緑化を
すすめよう

固定遊具、園庭での人的環境についても様々な意見交換がなされた

田園調布学園大学との共同研究(2022年～)

【2022年度**五感を育む保育環境**のテーマで取り組む】

大学教員の提案により保育環境を五感という視点で捉えた子どもの遊びを全職員で記録していった。
共同研究の中での考察や話し合いを通して、五感という視点で園庭環境にも着目するようになった。

新たなメンバーで園庭プロジェクトを立ち上げ、園庭環境の専門家の大学教員(仙田)に加わっていただいた。「**五感を育む園庭緑化**」という具体的な構想が見えていき、【**感性を育む園庭の森づくり**】に向けて、取組みを開始した。

※研究報告: 齊木、仙田、舟生「子どもを取り巻く保育環境への保育者の認識を深める試みー五感の経験に着目してー」田園調布学園大学教職年報第8号、pp.49-60、2025



大学教員との研修会

園庭緑化への取り組み(2022年10月～)

【感性を育む園庭の森づくりへ】

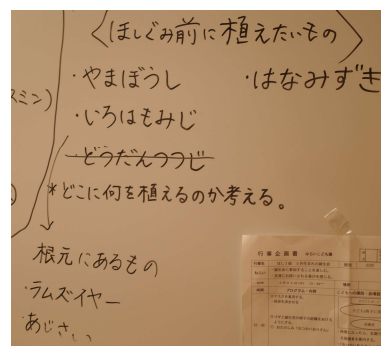
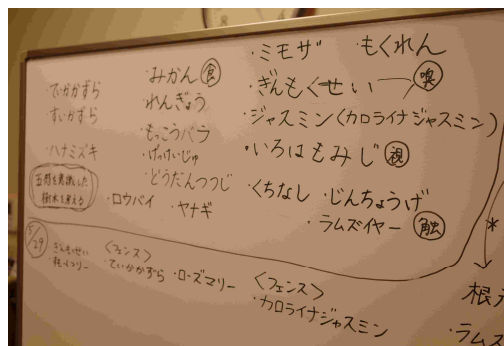
運動場型の園庭にもっと緑を！

子どもたちの感性を育む園庭環境の創生を目指して、計画が始まった。専門家と園庭の樹木の状況を確認したり、園庭緑化の優良事例の視察を行ったり、(世田谷区立希望丘保育園)、プロジェクトチームで緑化計画を検討を重ねた。



園舎前にもっと緑を！

樹木の状況の確認



チームで世田谷の園へ
園庭緑化実践の視察

五感を育む植栽
プランの検討

園庭緑化への取り組み(2023年10月)

【園庭緑化植栽プラン】

スケッチby園教員

国土緑化推進機構令和4年度緑の募金
特別公募事業（つながる、つなげる、
子ども若者応援事業）採用決定
(2023.6)

園庭に森を！
助成金が決まり、いよ
いよ実現へ！



園庭緑化への取り組み(2024年1月)

【植樹会に向けて】 緑化を行う場所を園庭にプロットし確認。
県内造園業者の方に圃場(県内)へご案内頂き、材料検査。実際に植える木を選ばせていただいた。



園庭緑化への取り組み(2024年2月)

【植樹会を開催】 園児、保護者、地域の方々、大学の学生・教員等、総勢120名ほどの方がボランティアとして参加していただき、造園業者の指導の下、植樹作業を行った。



作業がとても楽しく、
親子で貴重な体験が
できました



緑化された園庭(2024年2月⇒7月)

同じ場所とは思えない短期間での変化を見せている。



2024年
2月



2024年
2月



7月



7月

緑化された園庭



尺取虫を発見

目にする虫の種類も増えている



隠れ家的な
場所に
ワクワク



いいにおい・・・



園庭緑化から地域緑化へ(2023年10月～)

【川崎のどんぐりの
育成、里山へ植樹】

2023年10月の園外保育での王禅寺四ツ田緑地訪問で年長の子どもたちと学生が拾った里山のどんぐりを、大学(仙田ゼミ)で2年間学生が栽培してきた。今年(2025年)10月、園の子どもたちと学生が、王禅寺四ツ田緑地に再訪し、里山の広場等にどんぐり苗を植樹予定、森を広げたい！



発芽率10%!



田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト2

～CO2吸収源の増加:
地域の協力・連携から、子どもが生き物の生命を
感じられる池を創生

2024年5月～2025年9月

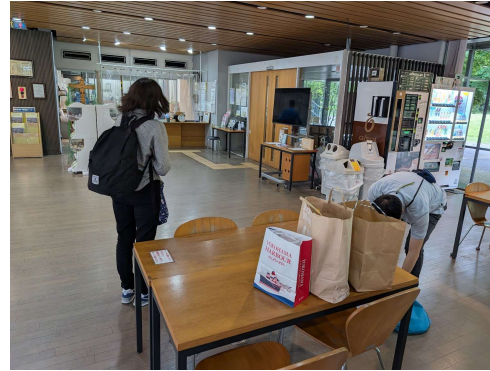


地域連携①： 市内緑地から水草小分け



地域連携①:市内緑地(多摩区)へ、
こども園副園長と大学教員が訪問、
緑地の池の管理されている方から水草を小分け。

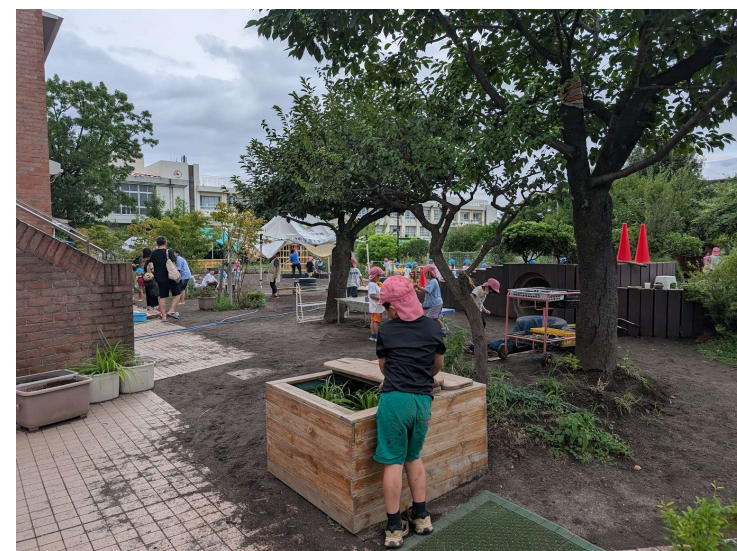
地域連携②： 県立公園から水草小分け



2025年春、県立公園(横浜市鶴見区)の職員の方から自然池の水草を小分け。



・子どもたちの目の前で一緒に水草の植付を行った。



子どもたちと共に、箱型の池に植え付けを行った。

地域連携③： 保護者からメダカ譲受



保護者からメダカを譲受、子どもたちと池に放流し、
園での自然観察(メダカ、水草)に積極的に活用されている。

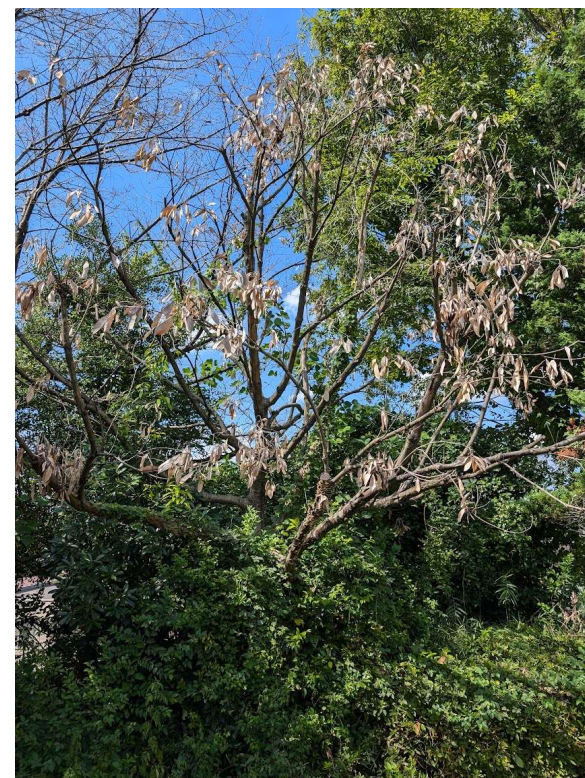
田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト3

～CO2排出量の削減:
附属中高の伐採樹木や附属大学のアカマツの枯木を
みらいこども園のあそび場に活用

2023年8月～2025年9月

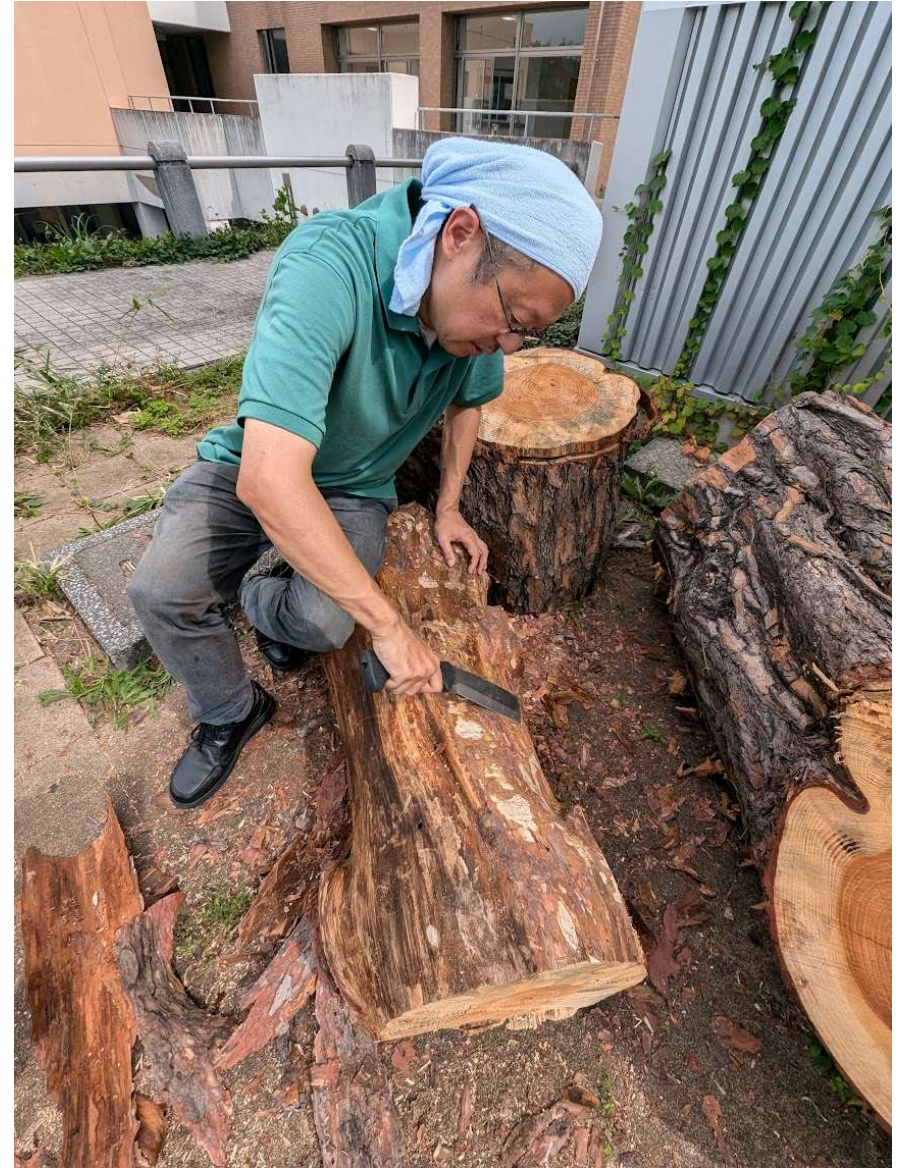


大学キャンパスの枯木 を伐採・園遊び活用へ



- ・2023年夏、大学部室棟横の高さ10m以上のアカマツ(写真左＋中央)と校舎奥の樹林の高さ5mのマテバシイ(写真右)が枯死。安全対策として、2024年夏に造園業者に伐採を依頼、実施された。

大学教員が丸太化 作業



・大学教員が丸太化作業中。



・丸太とベンチ・テーブルを作成。面取りを行い安全面に配慮した。
大学内の子ども支援室の前の広場に丸太サークルベンチを設けた。



・車で丸太と枝を搬入し、大学(麻生区)から附属のみらいこども園(中原区)へ運んだ。
園教職員の方々と協力して、園庭内に運搬した。



・園内でも作業を行い大きさや高さを整え、テーブル、ベンチを設置した。

附属中高の伐採樹木切り 株を使った小道づくり

附属中高で伐採したモミジの切り株を活用して、その上を歩けば、根付かない雑草を踏みつけることなく、ダンゴムシ探しができるかも。是非、作ってみたい！



伐採したもみじを附属中高から譲り受け、男性職員で小道用に切断

よいしょっ！



こっちからも



やりたい！と子ども達も一緒に作った小道

自然物と遊びの展開









田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト4

～CO2排出量の削減:
ごみの分別、コンポストづくり



昔(時期不明)～2025年9月(ごみの分別)
2023年12月～2025年9月(コンポスト)





①**ごみの分別**:子どもたちと生活の中で室内のごみの分別を行い、ごみ焼却によるCO₂を減らす活動を行っている。

②**コンポストづくり**:園庭にコンポストボックスを設置し、栽培終了後の草や落葉、枯れ枝等からたい肥を作成、さつまいも畑等の肥料として活用し、ごみ焼却によるCO₂を減らす活動を行っている。



田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト5

～CO2削減プロジェクトの普及啓発： 川崎市「脱炭素行動宣言」に賛同

(第2号様式)

「脱炭素行動宣言」 認証書

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、
園児、保育教諭の意識啓発（教育・研究）を行い、CO2排出の削減の
ための行動を促進する。園内の緑化活動を積極的にを行い、CO2の排出
削減に貢献する。

証 日 2025年6月10日
有効期限 2031年3月31日
名 称 田園調布学園大学みらいこども園

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、一丸となって取り組ましましょう

川崎温暖化対策推進会議会長 足立 芳寛
川崎市長 福田 紀彦



2025年3月(大学)
2025年6月(こども園)

(第2号様式)

「脱炭素行動宣言」 認証書

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、
・大学生、教職員の意識啓発（教育、研修等）を行い、CO2排出削減のための一
層の行動促進を目指します。
・授業、部活、こみね通を行い、CO2の排出削減に貢献します。
・環境関連の学内外のイベントや活動を企画、参加し、CO2の排出削減に貢献
します。
・校内の緑化（植樹）活動を推進し、CO2の排出削減に貢献します。

証 日 2025年3月17日
有効期限 2031年3月31日
名 称 学校法人調布学園 田園調布学園大学

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、一丸となって取り組ましましょう

川崎温暖化対策推進会議会長 足立 芳寛
川崎市長 福田 紀彦



(第2号様式)



「脱炭素行動宣言」 認証書

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、
園児、保育教諭の意識啓発（教育・研究）を行い、CO2 排出の削減の
ための行動を促進する。園内の緑化活動を積極的に行い、CO2 の排出
削減に貢献する。

認証日 2025年6月10日

有効期限日 2031年3月31日

名称 田園調布学園大学みらいこども園

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、一丸となって取り組みましょう

川崎温暖化対策推進会議会長 足立 芳寛

川崎市長 福田 紀彦



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

(第2号様式)



「脱炭素行動宣言」 認証書

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、

- ・大学生、教職員の意識啓発（教育、研修等）を行い、CO2 排出削減のための一層の行動促進を目指します。
- ・節電、節水、ごみ削減を行い、CO2 の排出削減に貢献します。
- ・環境関連の学内外のイベントや活動を企画、参加し、CO2 の排出削減に貢献します。
- ・校内の緑化（植樹）活動を推進し、CO2 の排出削減に貢献します。

認証日 2025年3月17日

有効期限日 2031年3月31日

名称 学校法人調布学園 田園調布学園大学

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、一丸となって取り組みましょう

川崎温暖化対策推進会議会長 足立 芳寛

川崎市長 福田 紀彦



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

田園調布学園大学みらいこども園with大学・大学院,地域 CO2削減プロジェクト6

～CO2削減プロジェクトの普及啓発：

～国際校庭園庭連合日本支部：2025年度園庭研究実践セミナー①
「子どもの主体的なあそびを育む園庭の環境づくりとルースパーツ(素材)の導入・実践・可能性を考える」

会場：田園調布学園大学みらいこども園

2025年9月21日





2025年9月21日、校庭園庭環境・活用を考える国際団体の日本支部「国際校庭園庭連合日本支部」主催による研究セミナー「子どもの主体的なあそびを育む園庭の環境づくりとルースパーツ(素材)の導入・実践・可能性を考える」が田園調布学園大学みらいこども園で開催された。

みらいこども園の園庭見学、および、園環境の五感の記録と、感性を豊かに広げる園庭環境の整備、環境構成についての話題提供、ディスカッション等が盛況に行われた。

70余名(対面・オンライン開催)の参加があり、本園の環境活動を広く知っていただく機会となった。

みらいこども園自由見学(園舎・園庭)





話題提供2:

齊木 美紀子(田園調布学園大学 教授)

仙田 考(田園調布学園大学 准教授、国際校庭園庭連合日本支部 代表)

勝浦 芳子(田園調布学園大学みらいこども園 園長)

「保育者による園環境の五感の記録と、感性を豊かに広げる園庭環境の整備、環境構成(ルースパーツ等)の展開 ～みらいこども園の実践から」



パネルディスカッション＋ 質疑応答

登壇：
天野 珠路、鮫島 良一、甲
田 美香、齊木美紀子、勝
浦芳子

進行：
仙田 考、内野 彰裕

こども園の脱炭素化環境活動with大学,地域の効果 ～田園調布学園大学みらいこども園CO2削減プロジェクトを通して



【参加型脱炭素化環境活動を通して得られたこと】

数年にわたり、こども園の園庭に園(園児,教職員,保護者)、大学(学生,教員)、地域(住民,市県内緑地,企業)と協働で森や池を創り、ヒートアイランド現象の緩和や自然保育の充実、CO2吸収源の増加を、また枯木の丸太利用、ごみの分別、コンポストのたい肥作り等、焼却でのCO2排出量の削減を図り、市内の脱炭素化や人々(子ども・大人)の意識向上を実現することができた。「脱炭素行動宣言」に認証頂き、脱炭素社会の実現に向けて、みなさんとともに今後も活動を継続していきたい。

さまざまな脱炭素化環境活動@みらいこども園with大学,地域

今年度の 取り組み





夏野菜の栽培

キュウリの収穫





ジューンベリー
の果実



お庭でいっぱい遊べるようにお花や野菜を育てます。

ご清聴ありがとうございました



園庭にて R8.6.23